

第67号

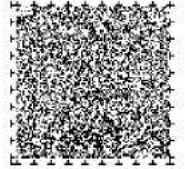
〈発行〉

平成29年4月1日

国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局

神戸視力障害センター

# センターだより



〈発行〉 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 神戸視力障害センター  
神戸市西区曙町1070 電話(078)923-4670 FAX(078)928-4122  
URL: <http://www.rehab.go.jp/kobe/> E-mail: [syomu-kobe@rehab.go.jp](mailto:syomu-kobe@rehab.go.jp)

## 就労移行支援(養成施設)平成28年度卒業式

平成29年3月1日(水)、平成28年度就労移行支援(養成施設)卒業式が執り行われました。



### 卒業生からのメッセージ

あっという間だった3年間を終えて新しいスタートを切る時がやって来ました。早く新しい仕事にも慣れて経験を重ね、今後とも勉強を怠らず研鑽を積み、良いあはき師となっていけるよう頑張っていこうと思っています。

神戸視力障害センターに入所してからあっという間のようながかったような3年間でした。楽しかった事も辛かった事、恥をかいた事も忘れず歩んでいきたいと思っています。そして、豆腐のように滑らかな施術と癒しを提供していけるよう、頑張ります。ありがとうございました。

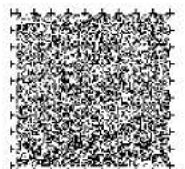
人の身体を診させて頂く仕事は、責任があると同時にとても素晴らしい事だと思います。私の中にある理想の鍼灸師像に一歩でも早く近づき開業する為、今まで通り毎日鍼を打つことを続け、不撓不屈の精神で突き進みます！

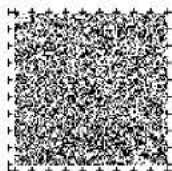
神戸視力センターに入所して、今となれば早いもので3年がたちました。卒業後は就職をし、今まで私の進路を理解、協力して支えてくれた家族に感謝し恩返しできるように学んだ事をいかして頑張っていきたいと思っています。

見え方や年齢、社会経験の違う仲間と過ごした3年間は私にとってとても貴重な経験になりました。これから社会人として、在生者の皆さんに目標とされるような存在になるべく精進して行きます。

長いようで短く感じた三年間、東洋医学や体の仕組みが分かるようになってきました。センターで学んだ経験を活かし、人に喜びや癒しを与えられるような施術家に自信を持ってなれるように頑張りたいと思います。

神戸センターに入所して、もう3年。時が過ぎ去るのは早いもので卒業を迎えることになりました。当初は希望や不安の中、日々覚えるのが精一杯でした。何も知らない私に学ぶことの難しさ、楽しさ、面白さを教えていただき感謝します。今までの人生では経験できなかったことばかり、障害者スポーツや新しい仲間との出会い、これを機会に当センターで学んだことを活かして地域社会の中で人々のささやかな暮らしのお手伝いができれば幸いです。新しい門出に乾杯。





## 卒業生の方々へ

光友会会長 桶谷 信介

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業される皆さんにとっては、ひきこもごもの三年間だったのではないのでしょうか。私たちは2年間という短い間でしたが、勉学のこと、寮生活等々のご指導を賜りありがとうございました。

昨年は福岡センターのみなさんを迎えるにあたって、卒業生の皆さんのご協力を頂き、無事に終わらせることができました。その他のイベント等々もご協力いただきありがとうございました。

私たちがわからないことがあって困っていると、親切にお言葉をかけてくださり、私たちの不安を取り去ってくださったのでいろんなことにがんばって取り組むこと

ができました。私たちにしてくださった温かな対応を一生忘れません。

卒業生の皆さんは、おそらく、センターの職員の方々や卒業されるまで支えてくれたご家族、臨床でお世話になった患者さんの方々に感謝し、現在に至っていることと思います。また、センター内で学んだこと、楽しかった、辛かったことをそれぞれの胸に刻みこんでいることと思われます。それらの感謝や胸に刻みつけた思い、今までの経験などがあれば、これからの人生の糧となり、将来、困難や色々な事があってもきっと、乗り越えていくことができると思います。

卒業生の皆さん、今まで本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。



## 専門3年クラス担当職員から卒業生へ贈る言葉

ご卒業おめでとうございます。そして国家試験ご苦労さまでした。

楽しいことばかりではない、色々なことがあったセンター生活だったと思います。皆さんとは3年間東洋医学の科目や実技で一緒にしましたが、聞いたこともない用語などの連続で苦労されていましたね。また、授業の他にもいろんなことで悩み苦しんでいたことが思い出されます。さあ、人生何回目かのスタートです。いきなりダッシュする必要はありません。自分に合ったペースで、時には立ち止まって方向を確認したり後ろを振り向いたりして、自分のペースで進んで下さい。皆さんなら必ずよい方向へ歩みを進められることと確信しています。ずっと応援しています。 (教務課 上野 博之)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

思えば、私は入所から3年間ずっと担任をさせていただきました。貴重な時間を共に過ごさせてもらったことに感謝します。きっと至らない部分も多々あったことと思います。ごめんなさい。

今日からは、理療師としてのスタートです。センターで学んだことや経験をもとに素晴らしい施術者になれることを心よりお祈り致します。健康にはくれぐれも留意して頑張ってください。

(教務課 山田 忠)

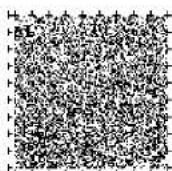
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年前、皆さんがセンターに入所された時のことを思い出します。あれから3年、様々な壁を乗り越えられてきたと思います。本当にお疲れ様でした。そして今日から、人生の新たなスタートです。これから進む道は、皆さん、ひとりひとり違うと思います。3年前にセンターに入所した時の思いを大切に、それぞれの道でご活躍されることをお祈りしています。3年間、ありがとうございました。

(支援課 山田 裕基)

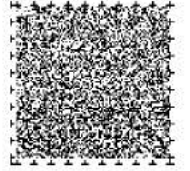


この度は、ご卒業おめでとうございます。私は、常日頃から、皆さんが学業や生活、身体から生じる問題などに対して、耐え忍び試行錯誤しながらも乗り越えられる姿を見てきました。これから、皆さんは社会という大海原へ船出するわけですが、もし、困難な場面に遭遇した時は、センターにいた頃の「頑張り」や「忍耐」と、センターを卒業できたという「自信」を思い出してみてください。きっと、困難を乗り越える力となってくれると思います。今後のご活躍を心より願っております。

(支援課 嘉村 崇史)



## ●●● みんなの図書館の開館 ●●●



みんなの図書館が、昨年の秋、利用者のみなさんの図書に触れる機会、学年の垣根を越えた学習の場として教室棟の一階にオープンしました。

まだまだ図書の数は少ないものの様々なジャンルの図書が並んでいます。今後、不定期ですが蔵書も増やし、近いうちに一部図書の貸し出しも実施していく予定となっております。

今はまだ小さなみんなの図書館ですが、うれしいことに少しずつ利用者が増えており、最近では常連さんと呼べる方々も現れてきました。本当にありがとうございます。これからも少しずつ書架が埋まっていくと共に、図書館とみなさんとの距離も埋めていければうれしく思います。

みんなの図書館は名前の通り、利用するみんなの図書館です。利用する全ての方々のための図書館として、今後もみなさんのご意見を通して成長して行きたいと思っております。一人でも多く利用してもらうこと、一回でも多く利用してもらうこと、[こんな本があったらいいな] [こうしてくれたら、もっと利用しやすいな] などのご意見が、太陽になり水になり栄養となって、みんなの図書館が大きく育っていくと考えております。みんなの図書館の成長にご協力いただければ幸いです。

これからも、みんなの図書館とそれを利用する方が共に大きく成長していくことを願っています。みなさんのご利用お待ちしております。

## 就労移行支援（養成施設）平成28年度卒後研修会の報告

「すごい。すごい。肩関節の可動域がこんなに簡単に広がるなんて。」 「ちょっと施術しただけなのに、筋がこんなに弛むなんて。」

今年度の卒後研修会は、北京・ロンドンオリンピック競泳日本代表トレーナーなどを務めて来られた、広橋憲子先生を講師に迎え、「筋膜リリースと軟部組織モビリゼーション」というテーマで、12月4日（日）に開催しました。参加者は26名。

筋膜リリースは最近テレビなどでもよく取り上げられている治療法。これまでのストレッチやマッサージとどこが違うのか。そんなことが分かるように、筋膜の構造やその性質といった基本的事項から、筋膜の歪んだ部分の見つけ方、そして具体的な実技指導などを行っていただきました。

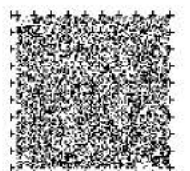
筋膜は筋に比べ、ゆっくりと時間を掛けないと伸びないという特徴を持っていますが、そんな筋膜の効果的な伸ばし方。先生の丁寧な指導の下、様々な手技を試しその効果を感じる度に、参加者の方々からは驚きの声。効果に対する感嘆と、手技を試しあう参加者

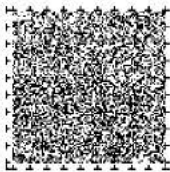


の方々の声で活気溢れる研修会となりました。

初めて参加された方からは、「こういう研修会なら次も是非参加したいです。」と言っていただき、内容のある研修会を開くことができたと感じました。

広橋先生、アシスタントを務めていただいた由香先生、ありがとうございました。





## 平成28年度 オープンキャンパス

平成28年7月23日（土）、9月24日（土）の2回にわたって「平成28年度オープンキャンパス」を開催しました。あはき師の国家資格取得や自立訓練を希望する視覚障害者6名を含む15名の方々に、当センターの訓練の実際を体験していただきました。

当日は、当センターの訓練や生活のことなどがわかる「ガイダンス」、各訓練内容を知ることができる「体験授業」、利用開始後に日々使用するスポットを案内する「施設見学」、皆さんの不安や疑問に直接先輩が答える「懇談会」など、さまざまなプログラムが行われました。自立訓練の体験では、対象者の方が会社のシステム担当の方と参加されたことで、紹介したパソコン設定の内容を実際に会社で即座に試せることになるなど、参加された方にとって当センターをリアルに体験できる有意義なプログラムとなりました。

参加された方からは「なんだか大変そう」「利用前に授業を受講できる貴重な体験だった」「もっと勉強をしなければと思った」「鍼は思ったより上手く出来た」等の感想が寄せられました。（就労移行支援参加、当事者の方）。

「視覚障害になって出来ないことが多かったが、センターを知って一つ一つ出来るが増えていく。このまま就労に繋がれば」（就労移行支援参加ご家族の方）

「見えにくくて困っていましたが、いろいろ紹介頂き文字通り目から鱗です」（自立訓練参加、当事

者の方）などの感想をいただきました。

オープンキャンパスでは訓練体験に加えてホームページやパンフレットでは分かりづらい、利用開始後の疑問や不安を解消していただけるよう、丁寧な対応を心がけています。来年も、同時期の開催を予定しております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

利用相談や施設見学は随時受け付けています。見えない、見えづらいなど、見え方でお困りの方やそのご家族、福祉関係者など、関心のある方は、ぜひご相談ください。



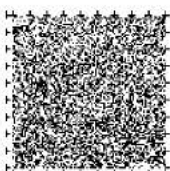
自立訓練体験で据置型拡大読書器を体験



就労移行支援「骨格模型」の観察

## 公開講座のご報告

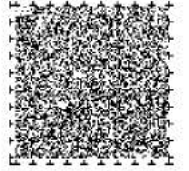
10月15日（土）に公開講座を開催しました。今回は「家庭でできるオイルフットマッサージ」をテーマとし近隣の16名の方々にご参加いただきました。3人一組、本センター教官と一緒にオイルまみれになりながら和



やかに練習しました。実習中「足が細くなった」「肌がしっとりした」などの声が聞かれました。アンケートでは「楽しく参加できリラックス

出来た」「する方もされる方も体がポカポカして良いコミュニケーションとなった」「マスターして家族や近い方にしてあげたい」などの感想をいただきました。次回は「セルフマッサージ」「頸肩こりのほぐし方」などの他、ちょっと難しいですが「腹部脂肪を取るマッサージ…」といったご希望も頂戴しました。来年のテーマにご期待ください。公開講座は毎年無料で行っています。次回も多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

# 平成28年度 進路支援講座



今年度、教務課は計6回の進路支援講座を行いました。この講座は就労において最低限知っておくべき知識の提供、また就労先において即実践できる手技等の習得などを念頭に設定しています。

## ①第1回 7月13日(水) 進路ガイダンスpart1

テーマ：あはき師の未来に向けて

講師：理療指導専門職 小田 剛

受講者：専門1年 6名

## ②第2回 9月30日(金)

テーマ：医療保険と鍼灸マッサージ

講師：協同組合兵庫県保険鍼灸師会 森井 尊士氏

受講者：専門3年 12名

## ③第3回 11月9日(水)

テーマ：進路ガイダンスpart2

就労に向けて知っておくべきこと

講師：理療指導専門職 小田 剛

受講者 専門1・2年 13名

## ④第4回 12月5日(月)

テーマ：視覚障害者としての接遇についての基礎

講師：教務課長 柴原 繁俊

受講者：専門1年 6名

## ⑤第5回 12月9日(金)

テーマ：視覚障害をもつ医療施術者としてのコミュニケーションスキルについて

講師：教務課長 柴原 繁俊

受講者：専門1年 7名

## ⑥第6回 1月13日(金)

テーマ：応急手当講習会

「普通救命コースⅠ(出張講習)」

講師：神戸市消防局市民防災総合センター 市民研修係

受講者：専門3年 12名

各回とも、活発に質問等が飛び交う講座になりました。利用者自身が就労にむけて、より自分を磨く必要性等を感じてくれたことと思われます。



写真は第6回の応急手当講習会の様子

## 平成28年度の臨床研修講座の報告

平成28年度の臨床研修講座は、臨床技術力向上・施術にあたってのリスク管理などに加え、進路決定の参考にもなるよう、また、その就職先ですぐに役に立つと思われる技術の習得を目的として、実施しました。

具体的には、訪問マッサージ・デイサービス・病院などの就職先で必要と思われる内容の講座、さらにリスク管理に関する講座など、今後増えると思われる高齢者の治療に当たって、役に立つと思われる内容としました。

今年度を実施した講座は以下のようになります。

「痛みに対する鍼灸マッサージ」

明治国際医療大学特任教授 矢野 忠 先生



「機能訓練に役立つ治療的アプローチ」

有限会社じゅん(デイサービスげんき)

代表取締役 楠田 順也 先生

「鍼施術の医療過誤およびその対策について」

森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科

教授 尾崎 朋文 先生

「機能訓練の進め方」

全国病院理学療法協会 近畿会会長 中川 保 先生

「訪問マッサージの実際」

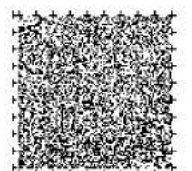
株式会社ウラノ

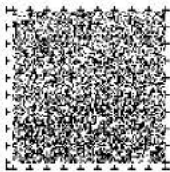
在宅リハビリ部 相談役 伊藤 茂樹 先生

「救急救命処置の実際」

河村循環器病クリニック

院長 河村 剛史 先生





## 平成28年度 視覚障害者に対するリハビリテーション研究会

11月17日～18日、当センター体育館等において、平成28年度視覚障害者に対するリハビリテーション研究会を開催しました。本研究会は、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局が主催し、所沢市の自立支援局のほか函館、神戸、福岡の視力障害センターの4施設が輪番制で年1回ずつ開催することとし、今年度が第1回目となります。当初、自立支援局で働く視覚障害に係る機能訓練専門職等のスキル向上を目的に内輪の職員研修会の形を考えていましたが、地域の病院、障害者相談支援センター、障害者支援機関等の職員を招き、医療と福祉の連携が促進されることを期待し、実施となりました。17日の午後と18日の午前の2部構成で行った内容は次のとおりであり、延べ108名の方に参加いただき、盛大に行うことができました。この場を借り、ご来場いただきました参加者の皆様、また講師等、協力いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

### ＜17日の内容＞

①高橋政代先生（国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー・医師）による特別講演「網膜再生医療とリハビリテーション」は、それらの関連性について分かり易く解説され、大変興味深い内容でした。自立訓練のニーズが高められることが期待され、今後の障害当事者への情報提供や支援の上で、有意義な内容の講演でした。②パネルディスカッション「視覚障害リハのニーズの掘り起こしと支援内容の高次化について考える」は、仲泊 聡先生（理化学研究所 多細胞システム形成研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト研究員・医師）による司会のもと、眼科医、視能訓練士、相談支

援事業所職員、訪問による歩行訓練を行う訓練士、当センター支援課長をパネラーとし、意見交換が行われました。障害当事者の抱く「視覚障害リハビリテーションニーズ」が段階を追って高められる必要性や、リハビリテーションが円滑に流れるためにロービジョンケアや、相談支援、自立訓練等、携わる医療と福祉分野の職員等による有機的連携が重要であることが総括されました。



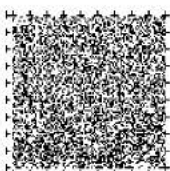
### ＜18日の主な内容

#### （自立支援局の職員を対象とした研修会）＞

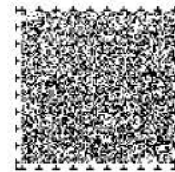
①杉本一幸先生（JR西日本あいウィル総務部長）による講義「雇用主の観点から障害者雇用の実情や求められるスキルについて語る」②高平千世先生（自立支援局自立訓練課）による講義「タブレット端末の操作訓練～基礎と実技～」 「チャレンジド・ヨガ」は、何れの内容も新任・中堅職員問わずに役立つ有意義なもので、受講者から好評を得ることができました。



特別講演で話されている高橋先生



## 障害者週間記念行事



わが国では、障害者基本法で12月3日から9日までの1週間を「障害者週間」と定めており、各種啓発活動が行われています。当センターでは、「障害者週間記念行事」と題して、平成28年12月6日に、ボランティアの方々への表彰や、弁護士による記念講演を実施いたしました。

ボランティア表彰では、11年にわたり視覚障害者への朗読ボランティアとして貢献されている団体「音訳の会「碧」」様と、8年にわたり当センター敷地内の花壇整備ボランティアとして貢献されている団体



「フラワーイースト」様の2団体に対して、それぞれ当センター所長から感謝状を贈呈いたしました。

続けて記念講演として、高島法律事務所の代表、高島章光<sup>たかしまあきみつ</sup>弁護士より、本年4月1日

より施行された「障害者差別解消法」についてご講演いただきました。まずこの法律の概要説明があり、続けて実際の運用における各種義務の説明がありました。当センターは「国の機関」であると同時に、「障害福祉サービス事業者」でもあるので、法律に定める各種義務について、両方の側面から深くご解説をいただきました。さらにこの法律を理解する重要な観点である「不当な差別的取扱いとは何か」「合理的配慮とは何か」についての説明や、法律に沿った正しい運用の要点の解説がありました。

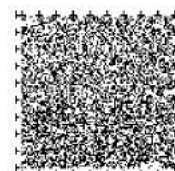
この記念講演は、当センター職員にとっては障害福祉サービスの質の向上に資する研修となりました。一方で、ご参加いただいた当センター利用者の皆様や関連団体の皆様にとって、障害の当事者、または障害者と日常的に接する立場としての、この法律への接し方を考える機会になりました。

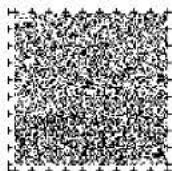
## 平成29年度 センター行事予定

(2017年4月から2017年9月まで)

- 4月10日(月) 就労移行支援（養成施設）入所式  
就労移行支援（養成施設）始業式  
前期授業開始（専門2年・3年）
- 11日(火) 前期授業開始（専門1年）
- 5月12日(金) 解剖見学実習
- 15日(月) 臨床研修コース利用開始
- 25日(木) 第1回総合避難訓練
- 6月15日(木) 前期中間一斉試験（6月16日まで）
- 7月上旬 余暇活動支援（福岡センターとのスポーツ文化交流会）
- 14日(金) 臨床研修コース終了
- 15日(土) 就労移行支援（養成施設）利用者夏期休業（8月20日まで）
- 22日(土) オープンキャンパス

- 8月10日(休) 自立訓練（機能訓練）利用者夏期休業（8月17日まで）
- 21日(月) 再理療教育利用開始
- 9月上旬 敬老治療奉仕
- 13日(水) 前期期末一斉試験（9月15日まで）





# 利用者募集

視覚に障害のある方を対象として、就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）は3年制で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得のための職業訓練を行います。資格取得後の進路は、高齢者施設や一般企業のヘルスキーパー（企業内理療師）等への就職、治療院の開業、進学等です。

自立訓練（機能訓練）では、歩行、パソコン、タブレット端末、録音再生機器、視覚的補助具（ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、遮光レンズ）、日常生活に関する訓練（例：調理）等を行います。訓練を修了された方の中には、当センターの就労移行支援（養成施設）に進む方もいます。

利用を希望される方は、まず当センターに御相談ください。来所による相談や見学も受け付けています。なお利用申込に必要な書類は当センターから取り寄せていただくか、ホームページからも印刷できます。利用に関する相談以外に、生活に役立つ道具のご紹介、他の施設やサービス等のご案内もいたしますので、お気軽にご連絡ください。

## 就労移行支援（養成施設）

**対 象** 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた、次の①または②に該当する18歳以上の方。  
①学校教育法第90条第1項の大学に入学することができる方。  
②当センターが実施する「個別利用資格審査」によって、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた方

**募集人員** 20名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）

**利用開始** 平成30年4月上旬

**利用期間** 3年間

**利用方法** 通所またはセンター内宿舎利用（宿舎は休日も利用可）

**受付期間** 平成29年8月頃より（お問い合わせ下さい）

## 自立訓練（機能訓練）

**対 象** 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた方

**定 員** 10名

**訓練内容** 歩行 パソコン 点字 ロービジョン 調理 スポーツ 陶芸 レクリエーションなど

**利用期間** 個人に応じる

**利用方法** 通所またはセンター内宿舎利用、訪問訓練（※応相談）

**備 考** 利用申込みや利用開始時期は随時

### 連絡先

#### 神戸視力障害センター 支援課

【電 話】078 - 923 - 4670

【F A X】078 - 928 - 4122

【Eメール】shien-kobe@rehab.go.jp 【ホームページ】<http://www.rehab.go.jp/kobe/>